

第17回 県内技術研究発表会（令和6年11月18日）

1. 目的

県内技術研究発表会は、島根県及び市町村の所掌する建設技術に関する調査・研究・開発の成果発表及び建設技術に関する創意工夫の提案等を行うことにより、建設技術の向上と普及を図ることを目的として毎年開催しています。

2. 主催者

公益財団法人島根県建設技術センター

3. 共催者

島根県建設技術協会

島根県農村振興技術連盟

島根県治山林道研究会

松江市建設技術協会

4. 結果

別紙の通り

5. 発表会風景



6. 発表論文

No.	発表課題	部門	発表者	
1	AUV（自立型無人潜水機）の利用実証実験について	一般 (新技術)	隠岐農林水産局 主任 佐々木 貴之 技師 吉田 和生	
2	松江北道路事業における CIM の活用事例と検証	アカウント ビリティ	松江県土整備事務所 係長 鳥屋 敦資 技師 藤原 唯史	聴講賞
3	治山・林道工事における木材利用について	その他	森林整備課 主任 富田 光貴 主任技師 白菊 亘	
4	令和 3 年災第 1993 号道路災害復旧工事	一般 (道路設計)	松江市 主任 坂根 彰	
5	林道施設（補強土壁工）の健全度評価の導入	アカウント ビリティ	益田県土整備事務所 主任技師 久瀬川 円香	優秀賞
6	国道 187 号大野原工区難関施工箇所の課題と原因	一般 (施工管理)	津和野土木事業所 技師 松本 綱男	
7	砂防堰堤工の役割～側壁護岸工にもとめられるもの～	一般 (砂防設計)	砂防課 係長 舛田 陽一	
8	原の谷川砂防事業における転石破砕剤・破砕機械の仕様について	一般 (砂防施設 工事)	県央県土整備事務所 主任技師 津森 政宏	優秀賞
9	知夫里島における自然環境に配慮した植生マットの利用について	一般 (植生工法)	隠岐県土整備局 課長 石倉 裕憲 係長 景山 浩樹	聴講賞
10	島根かみあり国スポ・全スポ 2030 に向けて	その他	出雲県土整備事務所 係長 大野 康	
11	島根県におけるインフラ DX の取組	その他	技術管理課 主任 小畑 烈	

令和6年度 第17回県内技術研究発表会 日程表及び発表論文概要

1. 開会 10:00
2. 挨拶 10:00～
3. 発表会における留意事項説明等 10:05～
4. 研究発表会 10:10～

1	10:10～	<p>【AUV(自立型無人潜水機)の利用実証実験について】 / 一般部門(新技術) 隠岐農林水産局 水産部 漁港課 主任 佐々木 貴之 技師 吉田 和生 令和5年12月に内閣府の総合海洋政策本部において「AUV(自律型無人潜水機)の社会実装に向けた戦略」が策定され、国主導のもと官民が連携しAUV産業を育成する実証実験を管内漁港である中村漁港にて実施することになった。AUVの水中施設点検への活用について、担当者の視点から発表するものである。</p>
2	10:35～	<p>【松江北道路事業におけるCIMの活用事例と検証】 / アカウンタビリティ部門 松江県土整備事務所 松江北道路建設室 工務課 工務第一係 係長 鳥屋 敦資 技師 藤原 唯史 令和3年度に事業化した高規格道路「松江北道路」について、全線10.5kmにわたる事業であり、関係する市民も多いことから、丁寧な地元周知・説明を求められている。 道路計画の周知にあたって、3次元モデルを活用した地元説明会を開催することにより地元との合意形成に寄与した事例と、今後一層の活用に向けて見えてきた課題について紹介する。</p>
11:00～ 休憩:10分		
3	11:10～	<p>【治山・林道工事における木材利用について】 / その他部門 森林整備課 森林基盤整備・防災対策室 林道係 主任 富田 光貴 主任技師 白菊 亘 治山・林道工事ではこれまで県産木材の利用拡大を目指し、コンクリート構造物型枠として県産ヒノキ合板型枠、林道防草対策として県産間伐材パネルなど積極的に工事で利用してきたところだが、最近の市況や施工業者からの聞き取り調査をうけ、仕様・規格などの見直しを検討したので、その経過を報告する。</p>
4	11:35～	<p>【令和3年災第1993号道路災害復旧工事】 / 一般部門(道路設計) 松江市 都市整備部 道路課 主任 坂根 彰 令和3年8月豪雨により、補強土壁が延長71.7mにわたり崩壊したため復旧工事を行ったが、施工中に掘削法面が崩れたことから、設計変更を行い工事を完成することができたが、その中での問題点を発表する。</p>
12:00～ 昼食・休憩:60分		
5	13:00～	<p>【林道施設(補強土壁工)の健全度評価の導入】 / 一般部門(林道施設維持管理) 益田県土整備事務所 治山・林道課 治山・林道第一係 主任技師 久瀬川 円香 島根県は、農林水産業の重点的な取組を定めた「島根県農林水産基本計画」を策定し、令和12年の原木生産量80万m³の達成を目標として、原木生産の低コスト化を推進しており、林内路網の整備及び路網機能の持続的な発揮が求められている。 路網整備を促進していく一方で、既設林道の長寿命化対策も併せて促進していく必要があるが、個別施設計画における点検対象施設は橋梁・トンネル・その他重要施設としており、施工性・経済性等から林道で多く採用されている補強土壁工は点検対象施設とされていない。 林道機能を持続的に発揮することを目的として、島根県西部の高津川流域を対象に、これまで県内で行われていなかった補強土壁の健全度評価を行い、維持管理手法の展望を示す。</p>
6	13:25～	<p>【国道187号線大野原工区難関施工箇所の課題と原因】 / 一般部門(施工管理) 益田県土整備事務所 津和野土木事業所 工務第二課 技師 松本 綱男 国道187号大野原工区は交通安全事業として歩道整備を進めている。 工区内で切土高が約25m以上ある箇所の施工が後回しとなり取り残されていた。当箇所の発注～施工を進める中で、施工計画(順序)の立案がいかに重要なポイントであるかを痛感した。その経緯等の報告をし、今後の皆さんの事業計画の参考としていただきたい。</p>
13:50～ 休憩:10分		
7	14:00～	<p>【砂防堰堤工の役割～側壁護岸工にもとめられるもの～】 / 一般部門(砂防設計) 砂防課 砂防係 係長 舩田 陽一 砂防堰堤工における側壁護岸工の設計の考え方について述べる</p>
8	14:25～	<p>【原の谷川砂防事業における転石破砕剤・破砕機械の使用について】 / 一般部門(砂防施設工事) 県央県土整備事務所 土木工務部 土木工務第一課 主任技師 津森 政宏 原の谷川砂防事業の漂流保全工の施工において、地山掘削時に多数の転石が出現した。巨大な転石も出現し、ブレーカーでの割岩破砕が困難であることから、転石破砕剤や油圧式割岩機を使用してこれらの転石を割岩破砕した事例を紹介する。</p>
14:50～ 休憩:10分		
9	15:00～	<p>【知夫里島における自然環境に配慮した植生マットの利用について】 / 一般部門(植生工法) 隠岐県土整備局 農林工務部 農村整備課 課長 石倉 裕憲 係長 景山 浩樹 令和6年4月20日に開通式が行われた中牧地区ふるさと農道。平成25年度から整備を続けてきた全長1.8kmの農道である。 本農道が開通したことにより村内の集落が結ばれ、幹線道路としての役割を果たし畜産振興に大いに寄与するものと期待されている。 本農道の法面保護に使用した郷土種定着促進型植生マットは、従来の植生マットとは異なり、現地の環境に配慮して種子をあえて入れず、周辺からの植生の定着を促す工法である。 本発表は、郷土種定着促進型植生マットの施工結果を踏まえて、課題等をまとめるものである。</p>
10	15:25～	<p>【島根かみあり国スポ・全スポ2030に向けて】 / その他部門 出雲県土整備事務所 都市整備課 都市整備第一係 係長 大野 康 島根県立浜山公園では島根かみあり国スポ・全スポ2030に向けて会場となる施設の改修を進めている。その改修内容等について紹介する。</p>
11	15:50～	<p>【島根県におけるインフラDXの取組】 / その他部門 技術管理課 長寿命化推進室 主任 小畑 烈 島根県におけるインフラDX(ICT活用、BIM/CIM、情報共有システム、遠隔臨場)の取組について情報提供する。</p>

5. 道路維持課報告(16:15～)
 (報告内容)【出雲市大社町日御碕地区県道29号の現状について】/道路維持課 佐藤 啓介課長補佐
6. 聴講賞投票(16:35～)
7. 表彰及び講評 16:55～
8. 閉会 17:10～